

18. 9月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER1号」の育成

[要約]

芳香があり、食味が優れ、果肉障害の発生が少なく、栽培が容易な9月中旬に成熟するナシ新品種「岡山PER1号」を育成した。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 果樹研究室

[連絡先] 電話086-955-0276

[分類] 技術

[背景・ねらい]

岡山県のナシの推奨中生品種である、「あきづき」は果実品質が優れるが、果肉障害が発生することがある。また、腋花芽の着生が非常に少なく、結果枝の確保が難しいことが問題である。そこで、生理障害が少なく、品質がよく、栽培の容易なナシ新品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 岡山県立農業試験場北部支場（現 閉鎖）で、1996年に晩生の「新高」と中生の「豊水」を交配し、得られた交雑実生個体から育成した樹から選抜し、2007年度に「岡山ナシ2号」として2次選抜を開始して育成した品種である。
2. 発芽や展葉は対照品種である「あきづき」、「豊水」より遅く、開花はほぼ同時期かやや遅い（表1）。収穫は「あきづき」とほぼ同時期の9月12日前後（県南部）であり「豊水」より4日程度遅い（表2）。
3. 果実重は「あきづき」と同程度かやや小さく、「豊水」より大きい（表2）。
4. 糖度は対照品種よりやや低い、酸味は少ない（表2）。また、親品種の「新高」に似た強い芳香がある。
5. 「あきづき」で問題となる果肉のコルク状褐変は、ほとんど認められない。また、「豊水」で問題となるみつ症の発生はほとんど認められない（表2）。
6. 腋花芽の着生が少ない「あきづき」と比べて発育枝上の腋花芽の着生が多く、結果枝の確保が容易である（表3）。

[成果の活用面・留意点]

1. 登録後5年間は岡山県内への利用許諾とし、その後、他県への利用許諾について関係部署と協議する。
2. 花粉が少ないため、人工受粉用の花粉源としては適さない。
3. 果実の外観は親品種である「豊水」に近く、表面に筋が入ることが多く、ややいびつな印象を受ける（図1）。
4. 本品種は「岡山PER1号」として品種登録(2020年1月28日)され、「晴香」として商標登録(2017年9月15日)された。「追記2020年2月」

[具体的データ]

表1 「岡山PER1号」及び対照品種の発芽、展葉及び開花期(2012～2015 年の平均)

| 品種名 | 発芽日 | 展葉日 | 開花期 | | |
|---------|-------|------|-------|-------|-------|
| | | | 開花始日 | 満開日 | 開花終日 |
| 岡山PER1号 | 3月28日 | 4月9日 | 4月12日 | 4月13日 | 4月20日 |
| あきづき | 3月23日 | 4月7日 | 4月11日 | 4月14日 | 4月20日 |
| 豊水 | 3月22日 | 4月6日 | 4月10日 | 4月12日 | 4月19日 |



図1 「岡山PER1号」の果実の外観

表2 「岡山PER1号」及び対照品種の果実特性(2012～2015 年の平均値)

| 品種名 | 収穫日 | 果実重 (g) | 糖度 (° Brix) | pH | 果皮色 ^z (c.c.) | 地色 ^z (c.c.) | 果肉硬度 ^y (lb) | 裂皮 ^x (0～4) | みつ症 ^x (0～4) | コルク状 ^w (箇所/果実) |
|---------|-------|------------|----------------|-----|----------------------------|---------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|------------------------------|
| 岡山PER1号 | 9月12日 | 541 | 12.5 | 4.9 | 4.8 | 4.1 | 4.6 | 0 | 0.1 | 0.0 |
| あきづき | 9月11日 | 567 | 13.6 | 4.8 | 4.7 | 3.7 | 4.9 | 0 | 0.0 | 0.7 |
| 豊水 | 9月8日 | 460 | 13.5 | 4.7 | 4.4 | 4.2 | 4.6 | 0 | 1.0 | 0.0 |

^z果皮色は農水省カラーチャート(豊水用)、地色はニホンナシ用地色判定用カラーチャートを用いた

^yパローフ社製フルーツテスターによる計測値(8mm針頭)

^x達観により判定(0:無、1:微、2:少、3:中、4:多)

^w果梗部から果頂部方向に約1cmの厚さで輪切りにし、切断面に見えたコルク状褐変の個数

表3 「岡山PER1号」及び対照品種の休眠期における発育枝上の腋花芽形成(2014年)

| 品種名 | 新梢長 (cm) | 基部径 (mm) | 腋花芽数 (個/枝) | 全芽数 (個/枝) | 腋花芽率 (%) | 枝長さ10cm当たり の腋花芽数(個) |
|---------|-------------|-------------|---------------|--------------|-------------|------------------------|
| 岡山PER1号 | 115.5 | 13.9 | 17.5 A | 21.6 | 81.6 A | 1.52 A |
| あきづき | 107.9 | 14.6 | 4.6 B | 27.8 | 17.6 B | 0.47 B |
| 豊水 | 118.4 | 13.7 | 17.1 A | 23.1 | 74.2 A | 1.45 A |

^z数値右の異なる符号間には大文字は1%水準で有意差あり(Tukey法)

[その他]

研究課題名：ナシ新品種の育成

予算区分：県単

研究期間：1973～2015年度

研究担当者：藤井雄一郎、樋野友之、安井淑彦

関連情報等：藤井ら (2016)、品種登録出願 第30979号